

【神奈川区】

(1) 臨港幹線道路の早期完成

【回答】

臨港幹線道路については、臨海部の道路ネットワークを構築するために重要な道路と考えています。

このため、山下ふ頭再開発に伴う物流環境の変化、本牧ふ頭の再編などの進捗も踏まえ、事業化を検討していきます。

(2) 新浦島橋の拡幅（架け替え）の早期完成

【回答】

「新浦島橋の拡幅（架け替え）」については、平成24年4月から安全・安心な橋に架け替える工事をしており、旧橋の撤去を完了し、新橋の工事に着手しています。

また、架替事業に必要とされる用地取得に向けて、用地交渉を進めています。

引き続き、早期完成に向けて取り組んでいきます。

(3) JR東神奈川駅地下道の拡幅

【回答】

東神奈川駅付近でJRを横断する都市計画道路として、横浜上麻生線が計画されています。

平成20年5月に公表した「都市計画道路網の見直しの素案」において、本路線については、線形や幅員を見直す「変更候補」としてしています。また、内陸部と臨海部との交通の円滑化を図るとともに、東口駅前広場の交通混雑の軽減を図るため、優先的に事業着手する路線としており、他の事業中路線の進ちょく状況等を見ながら、効率的・効果的な整備について検討していきます。

(4) 神奈川お台場の保存・活用に向けた助成

【回答】

神奈川台場の遺構については、平成22年9月に文化財保護法上の「周知の埋蔵文化財包蔵地」として位置づけ、保護を図っています。台場跡地のほとんどは私有地であり、今後の保存や活用については、土地所有者や関係機関・団体とも調整しながら検討していく必要があると考えています。

神奈川台場の保存活用としては、これまで、神奈川台場の遺構の一部が埋もれている神奈川台場公園について、当時の石積みを再現するなどの再整備を行うとともに、台場の歴史を紹介するパネルを公園内に設置したほか、中央卸売市場内に現存する石積みまでの歩行者用通路の整備を行ってきました。

また、神奈川区では、台場について「神奈川宿歴史の道」、『「わが町かながわとっておき」散歩ガイド』の広報印刷物で紹介しています。

さらに、関連部署が連携して作成した「横浜旧東海道みち散歩リーフレット」でも台場について紹介しています。

今後も引き続き、台場のPRに努めます。

(5) 「かながわ物産館(仮称)」の開設支援

【回答】

ご要望いただいた物産館の開設支援については、旧横浜シティエアターミナル敷地の土地利用の検討過程で行ったサウンディング型市場調査において、事業者の方々に、検討が可能な機能の一つとして「神奈川区内の物産の紹介・販売等ができるスペース」を例示し、内容、規模、利用方法について、意見・提案をお願いしました。

同敷地の活用については、現時点では、導入される機能や施設などは未定ですが、ポートサイド地区の地元からご要望をいただいている機能を確保することを基本的な考え方として、地域の皆さまと対話しながら検討を進めています。

(6) 神奈川東部方面線の整備に合わせた羽沢駅周辺の整備促進

【回答】

(仮称)羽沢駅周辺のまちづくりについては、駅を中心としたエリアについて地元住民で構成する協議会との話し合いを進め、平成27年度初めにまちづくりの方針の策定を予定しています。駅直近エリアの開発については、地権者及び関係部署間で調整を行なっています。

また、交通基盤施設について、駅周辺の開発計画と整合を図りつつ、計画の策定を進めます。